

# 学級担任のまなざし 46

Okayama Prefectural Education Center

R2.8. 27(Thu)

## 「ねらいを大切に」

その小学校では、毎年、6年生を送る会を行っていました。初めて1年生を担当した時、学年主任に「出し物はどうしますか。合奏はしますか。プレゼントは作りますか。」と尋ねました。いくつかアイデアがあったので「あれもしたい、これもしたい」「どうすれば盛り上がるか」とワクワクした気持ちで、学年主任の言葉を待ちました。「そうねえ…」の後、予想外の答えが返ってきました。「何をするか、より、何のためにするかを考えさせないといけないわね」私は「えっ？」と戸惑ってしまいました。

学年主任は続けます。「6年生を送る会のねらいって何だったかな?」「これまでお世話になった6年生に対する感謝の気持ちを持ち、それを伝えることです。実施計画に書いてありました。」「じゃあ、子どもたちには、まず、6年生にしてもらったことを思い出したり6年生との思い出を振り返ったりする活動をしましょう。その後、それに対する今の気持ちをみんなで集めて、その気持ちをどう伝えるか、話し合わせましょう。それを持ち寄って学年会をしませんか。」という提案でした。

翌日、話し合いをしました。「学校に行く途中、転んで血が出た時、ティッシュで押さえて、ランドセルを持ってくれた」「昼休みに一緒にサッカーをして遊んでくれた」「委員会で飼っていたうさぎを抱っこさせてくれた」などの出来事が発表され、「ありがとうという気持ちを伝えたい」「中学校に行ってもがんばってねと言いたい」「ぼくたちのことを忘れないでと伝えたい」などの意見が出ました。後はその気持ちを何で伝えるかということになり、「歌」「呼びかけ」「プレゼント」に決まりました。

6年生を送る会のねらいをもとに話し合ったので、歌と呼びかけとプレゼントで気持ちを伝えたいという意欲が高まり、主体的な活動になる予感がしました。早く放課後の学年会で学年主任に報告したいと思いました。